
2017年10月11日

各位

株式会社 三重銀総研

第43回「経営者アンケート」調査結果について

三重銀行グループのシンクタンクであります 株式会社三重銀総研（代表取締役社長 山本博也）では、このたびお取引先企業で構成する三重銀経営者クラブの会員を対象とした経営者アンケートを実施し、調査結果を取りまとめましたのでご報告申し上げます。

- 経営者アンケート調査の概要 -

1. 調査対象

三重銀経営者クラブ会員で、資本金1億円以下の三重県下法人企業1,083社

2. 調査方法

郵送によるアンケート調査

3. 調査時期

2017年9月上旬～中旬

4. 回収状況

配布数 1,083社

回収数 406社（回収率 37.5%）

5. 調査結果

別添資料

経営者アンケートは、年2回（3月・9月）実施しております。

なお、本件に関するお問い合わせは、下記担当者までお願い致します。

株式会社三重銀総研 調査部（059-354-7102）

担当 伊藤 綾香

以上

第43回経営者アンケート調査結果<概要版>

企業の景況感は小幅に悪化

【今回のポイント】

県内景気はD.I.値が小幅に悪化し、2半期ぶりのマイナスに。(p3)

2017年度上期(2017年4月～9月)の県内景気は、D.I.値が1.7と、前期(+1.4)から小幅に悪化し、マイナスとなった。来期(2017年10月～2018年3月)は+4.2と、再びプラスに転じると見込まれており、経営者の景況感は持ち直す見通しである。

【総括】

景況感を示すD.I.値は小幅に悪化し、2半期ぶりのマイナスとなった。先行きは、再びプラスに転じる見込みとなっており、経営者の景況感は持ち直す見込みである。売上高および利益状況のD.I.値は、製造業で改善がみられた一方、建設業、非製造業では悪化した。また、設備投資を「実施した」企業の割合が2半期ぶりに減少した一方、雇用状況を「不足」とみる企業の割合が1996年度上期の調査開始以来最高の水準となった。

【項目別】

県内景気 ... D.I.値は小幅に悪化し、2半期ぶりのマイナスとなった。先行きについて、再びプラスに転じるとみられ、経営者の景況感は持ち直す見込みである。(p3)

業界景気 ... 製造業のD.I.値は大きく改善し、7半期ぶりのプラスとなった。一方、建設業、非製造業のD.I.値はともに悪化。先行きは、製造業、建設業、非製造業はともに改善が見込まれる。(p4～7)

自社の業況 ... 製造業は、売上高、利益状況のD.I.値がともに改善し、先行きもプラス幅が拡大する見込みである。建設業は、売上高、利益状況のD.I.値がプラスとなったが、先行きは悪化する見込みである。また、非製造業は、売上高、利益状況ともに悪化したもののプラスを維持し、先行きはプラス幅が拡大する見込みである。(p8～15)

経営判断 ... 設備投資の実施状況を見ると、「実施した」企業の割合は2半期ぶりに減少した。雇用状況は、「不足」とみる企業の割合が増加し、1996年度上期の調査開始以来最高の水準となった。(p16・17)

2017年度下期の展望 ... 「プラス要因が強い」とみている企業の割合の増加幅は、「マイナス要因が強い」とみている企業の割合の増加幅を上回っており、企業の先行きに対する不安感が和らいだ。(p18・19)

特別調査～交通インフラについて～

... 現在の三重県内のインフラ整備状況について、「やや不十分である」または「不十分である」と回答した割合の合計は5割を超えた。また、将来において、高い効果が期待できるインフラについて、「新名神高速道路の開通」、「日常的な生活道路の整備」、「既存幹線道路の整備」と回答した企業の割合がそれぞれ4割超となった。(p20～22)

【調査の概要】

1. 調査対象

三重銀経営者クラブ会員で、資本金1億円以下の三重県下法人企業1,083社

2. 調査方法

郵送によるアンケート調査

3. 調査時期

2017年9月上旬～中旬

4. 回答状況

配布数 1,083票 (前回 1,057票)

回収数 406票 (前回 401票)

回収率 37.5% (前回 37.9%)

なお、詳細な内容につきましては、調査結果冊子をご参照下さい。